

GROUND LEVEL GAP

— 敷地の高低差を活かした建築事例 —

2.SITE ANALYSIS

敷地分析



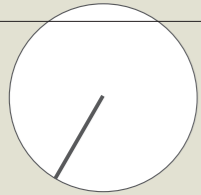
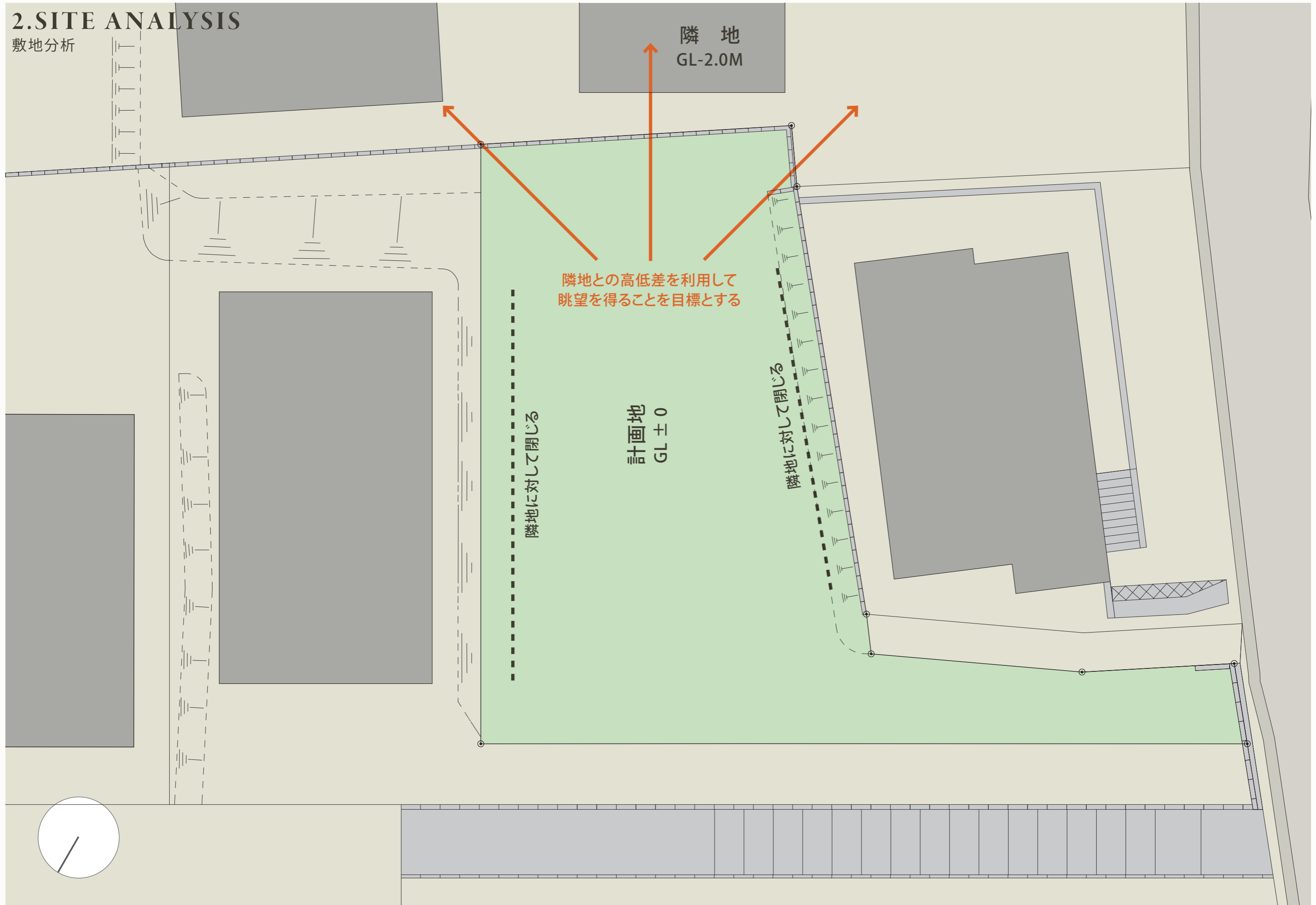
対象敷地からの由比ガ浜方面への眺望



隣地との高低差

2.SITE ANALYSIS

敷地分析



2. SITE ANALYSIS

敷地分析



敷地は、鶴岡八幡宮を通りすぎて、奥へ奥へと進んでいった道のりの先にある

3.CONCEPT

コンセプト

西御門旧跡碑付近



第二中学校付近



西御門サローネ付近



シェアビレッジ
プロムナード



計画敷地



家



「西御門の通り道→シェアビレッジのプロムナード→家」まで、ドラマティックなシーンが連続する。

3.CONCEPT

コンセプト

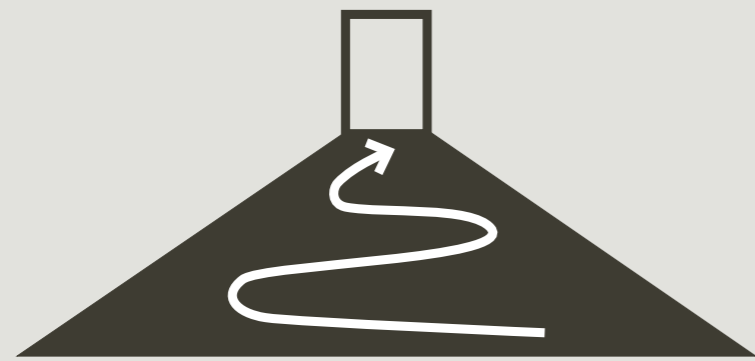


「鎌倉」「西御門」「谷戸」「自然」「住宅」についてのイメージスタディ。これらのイメージがうっすら結ぶ像を探す。

3.CONCEPT

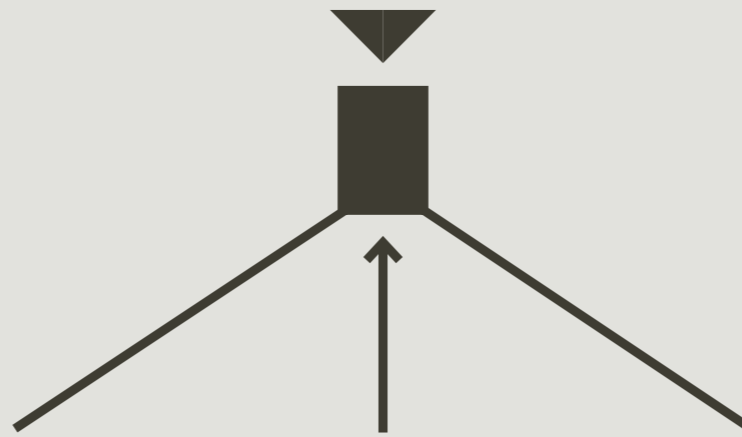
コンセプト

1



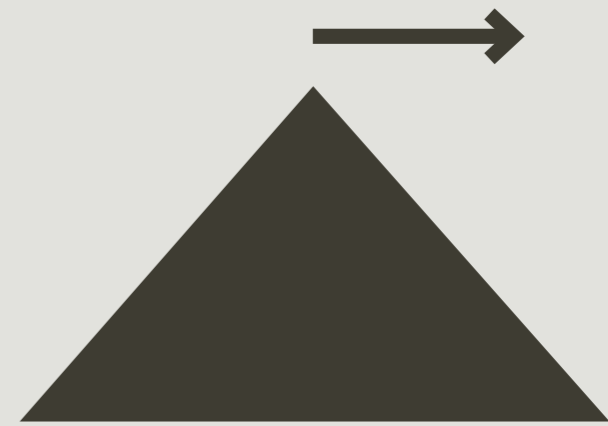
道のり

2



目的地

3



眺望

イメージスタディにより、「道のり」「目的地」「眺望」のキーワードを抽出した。

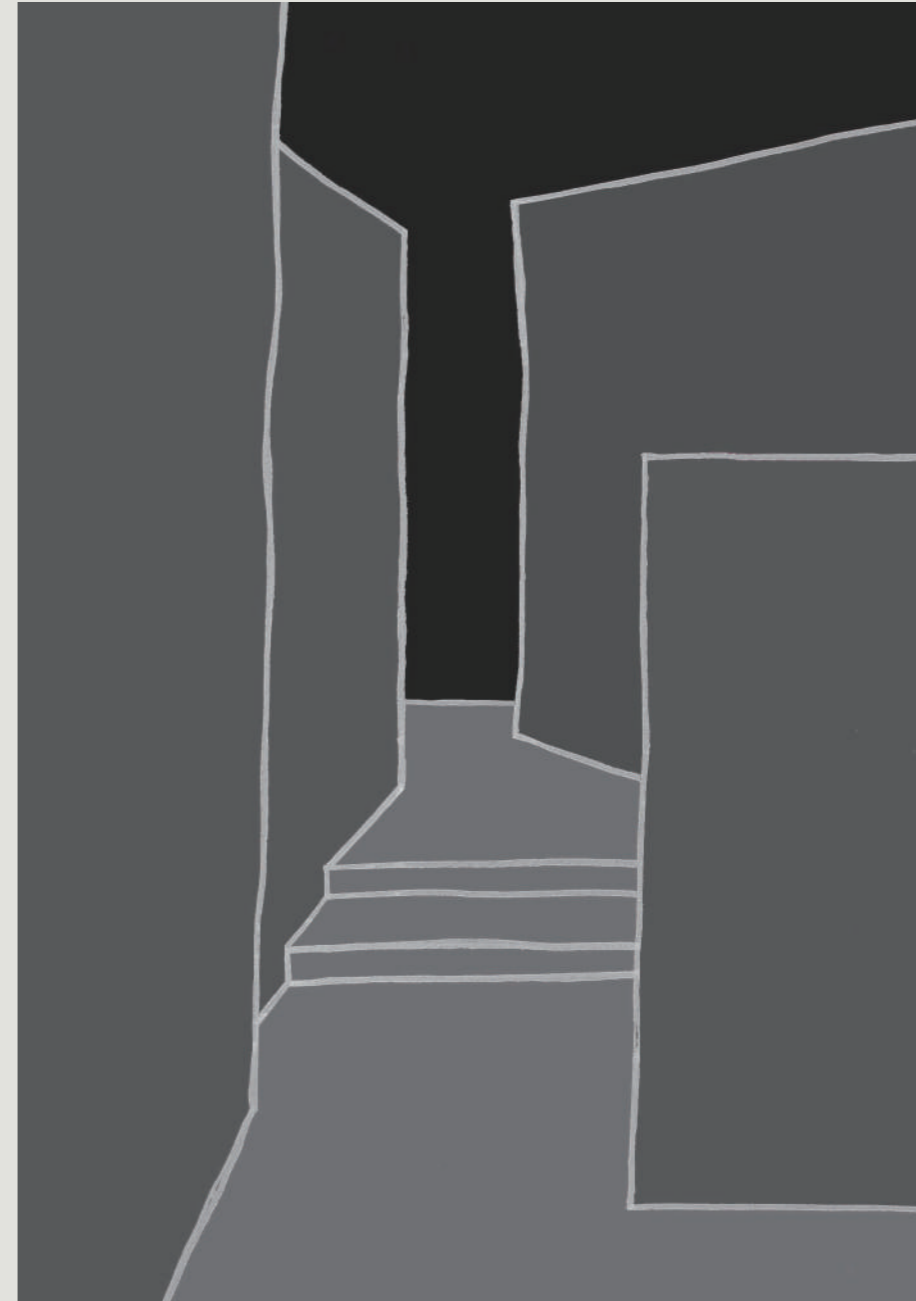
3.CONCEPT

ダイアグラム

町のなかの路地



家のなかの路地

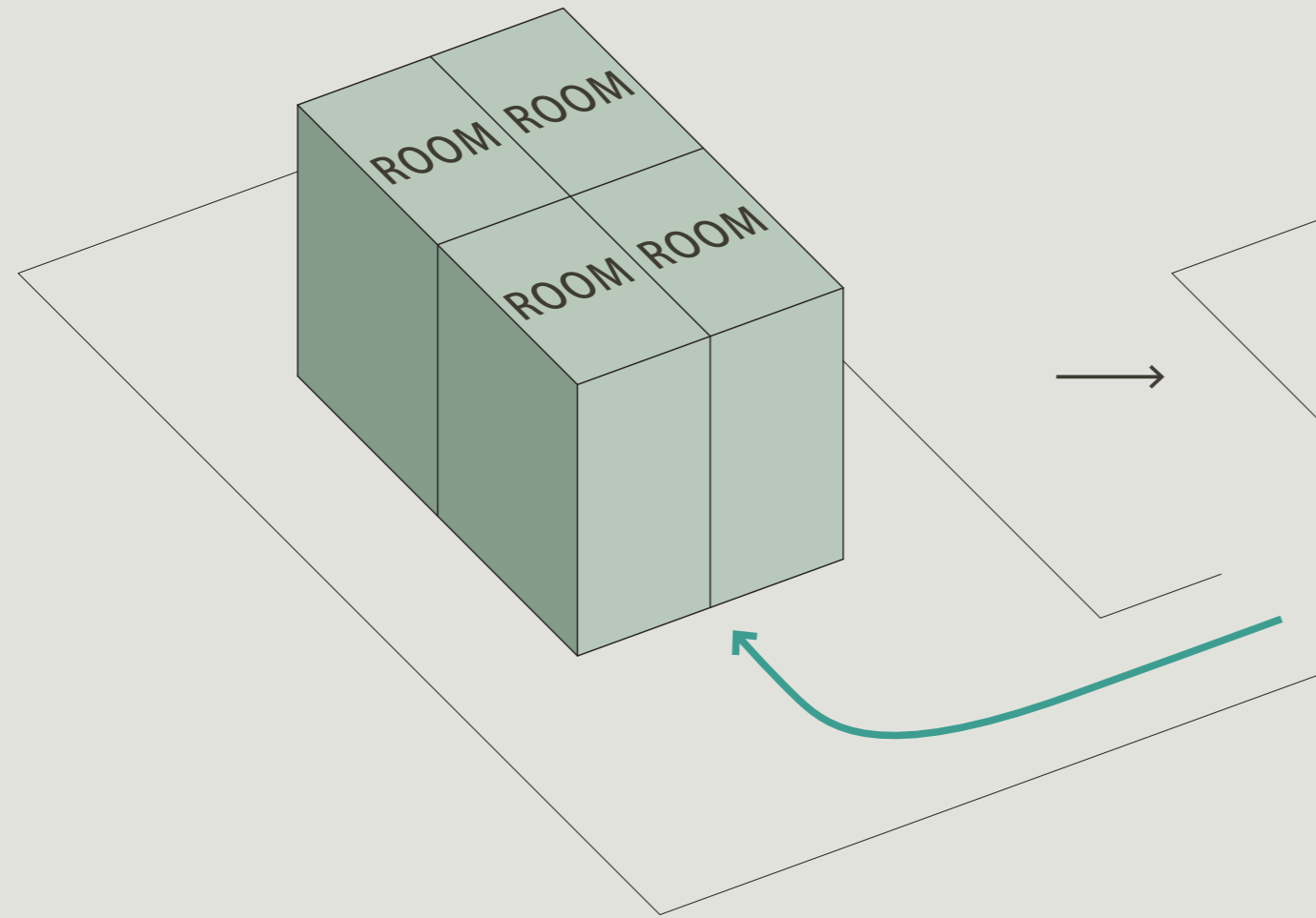


路地を進むときの道のりには、豊かな空間体験がある。

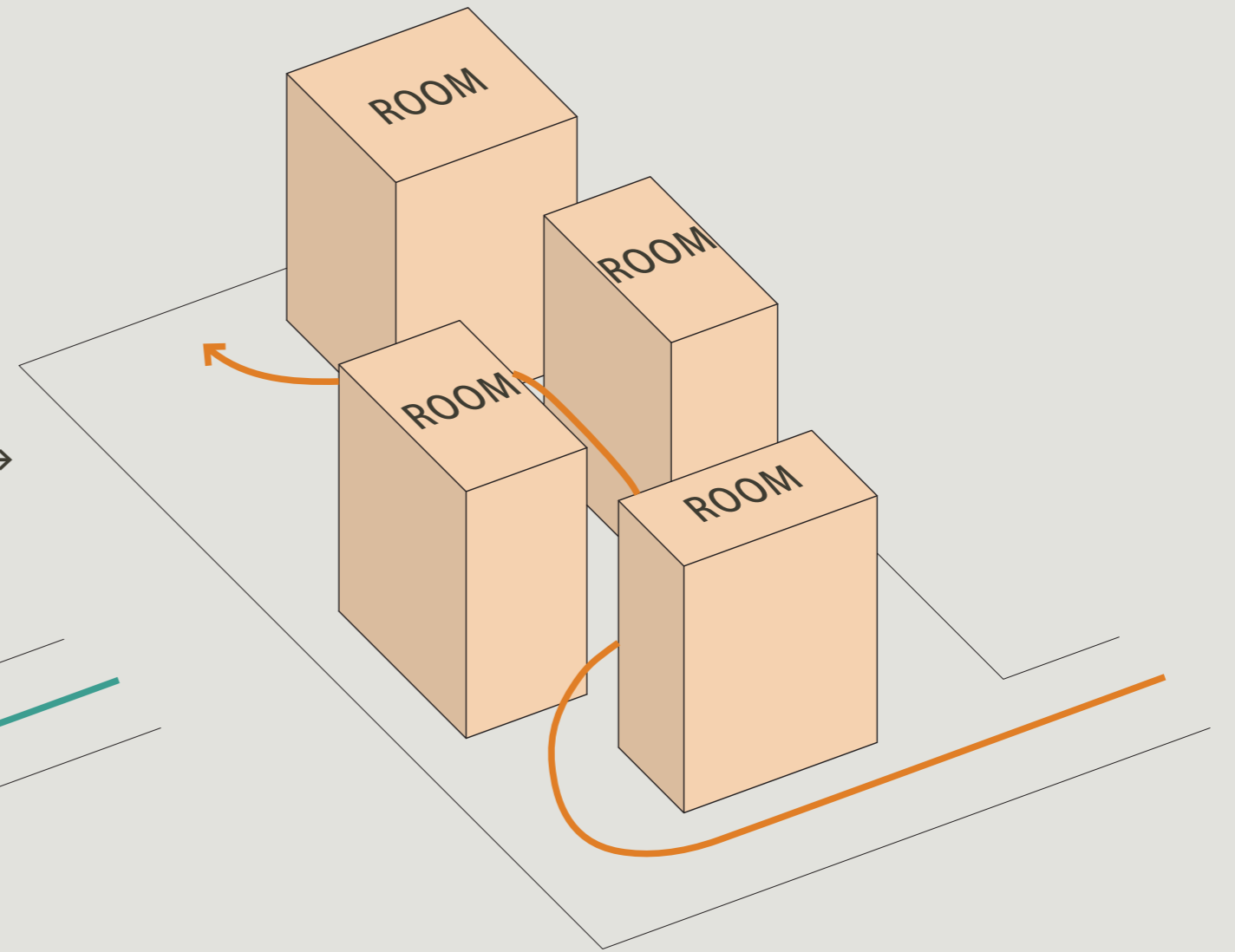
3.CONCEPT

ダイアグラム

路地のない間取り



路地のある間取り



路地のない間取りでは、均質で画一的な空間となるのに対して、
路地のある間取りでは、その奥行きによって動的な空間となる。

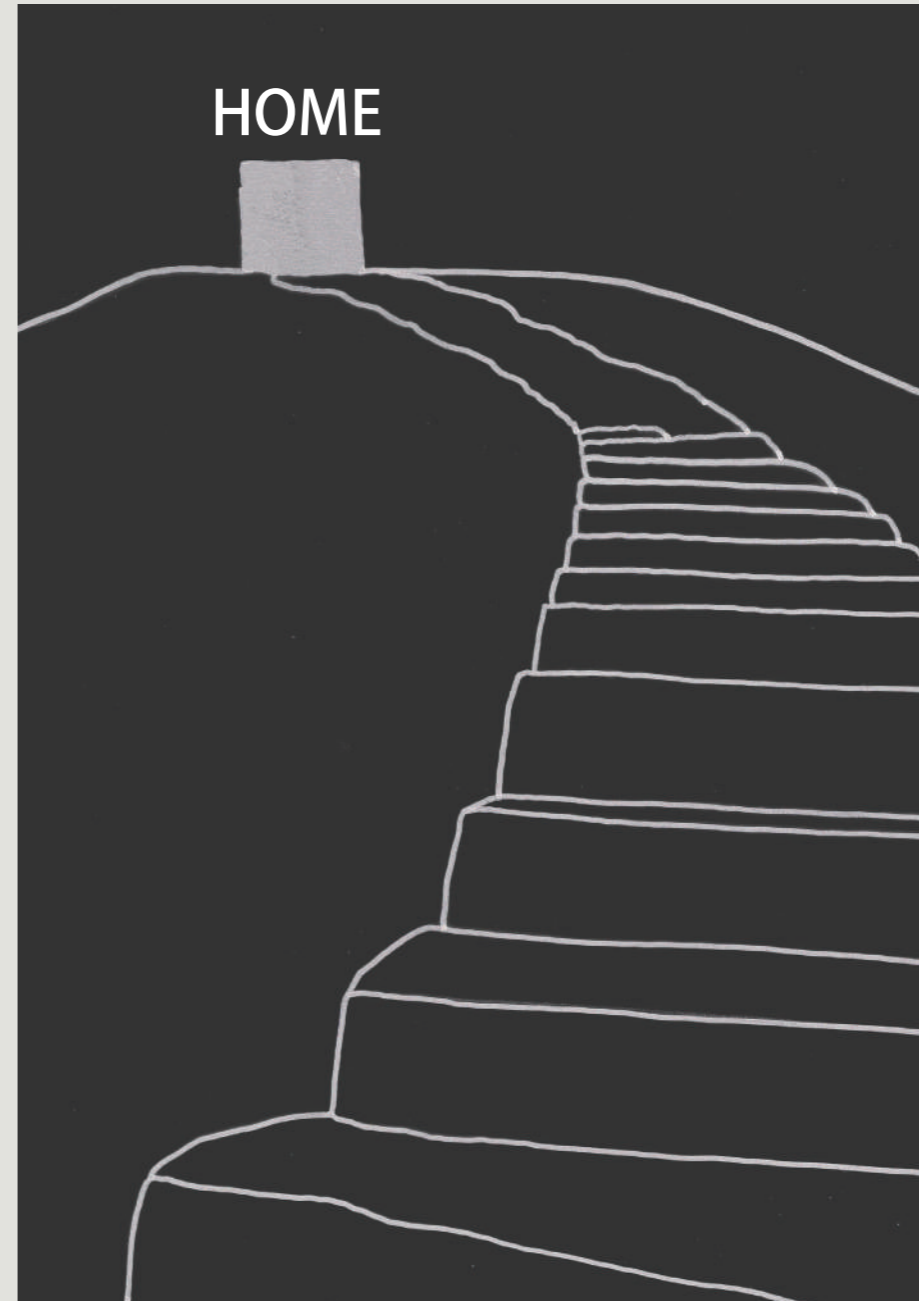
3.CONCEPT

ダイアグラム

道のりの先にある目的地



道のりの先にある部屋

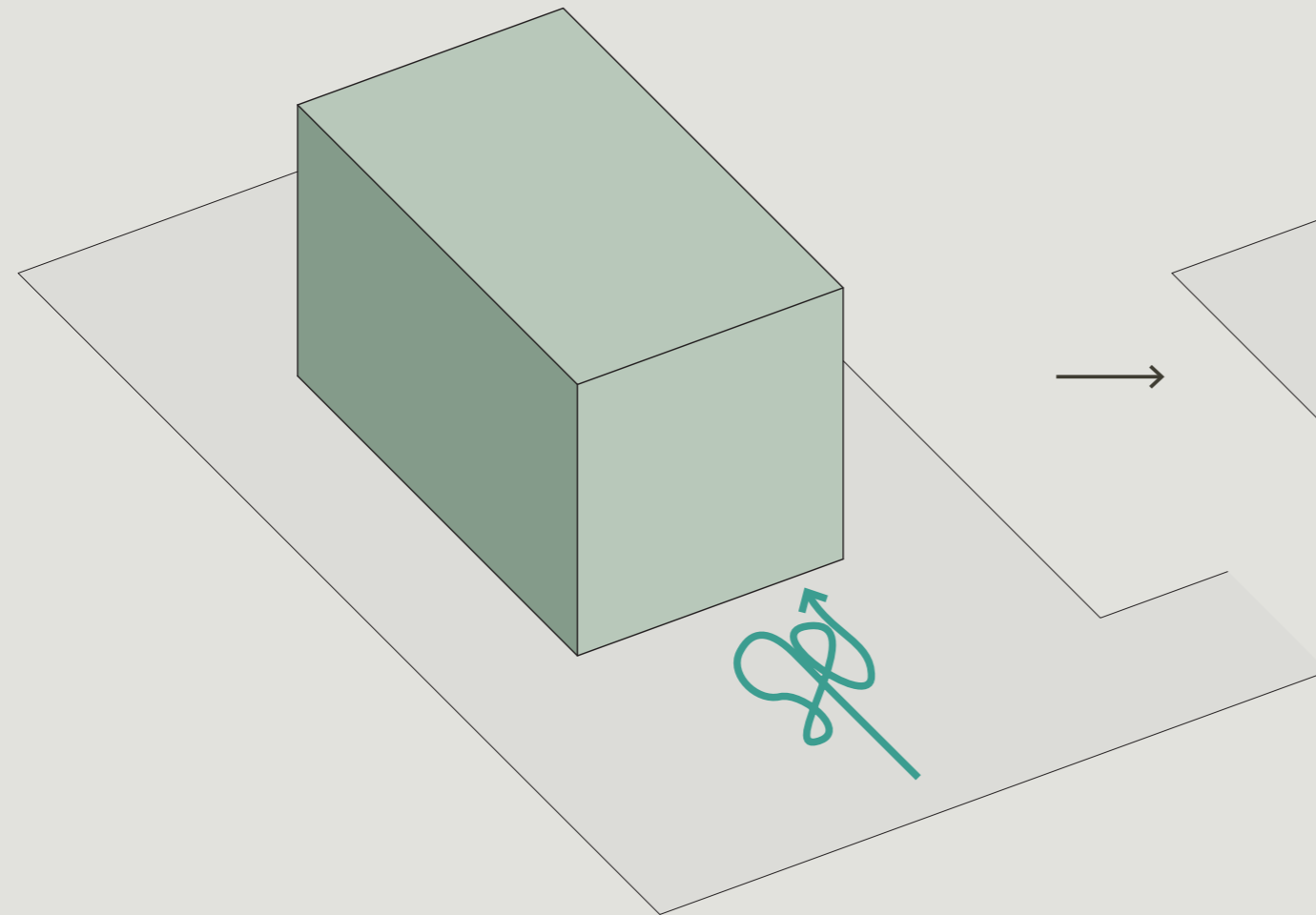


長く豊かな道のり、その体験の先には期待がある。

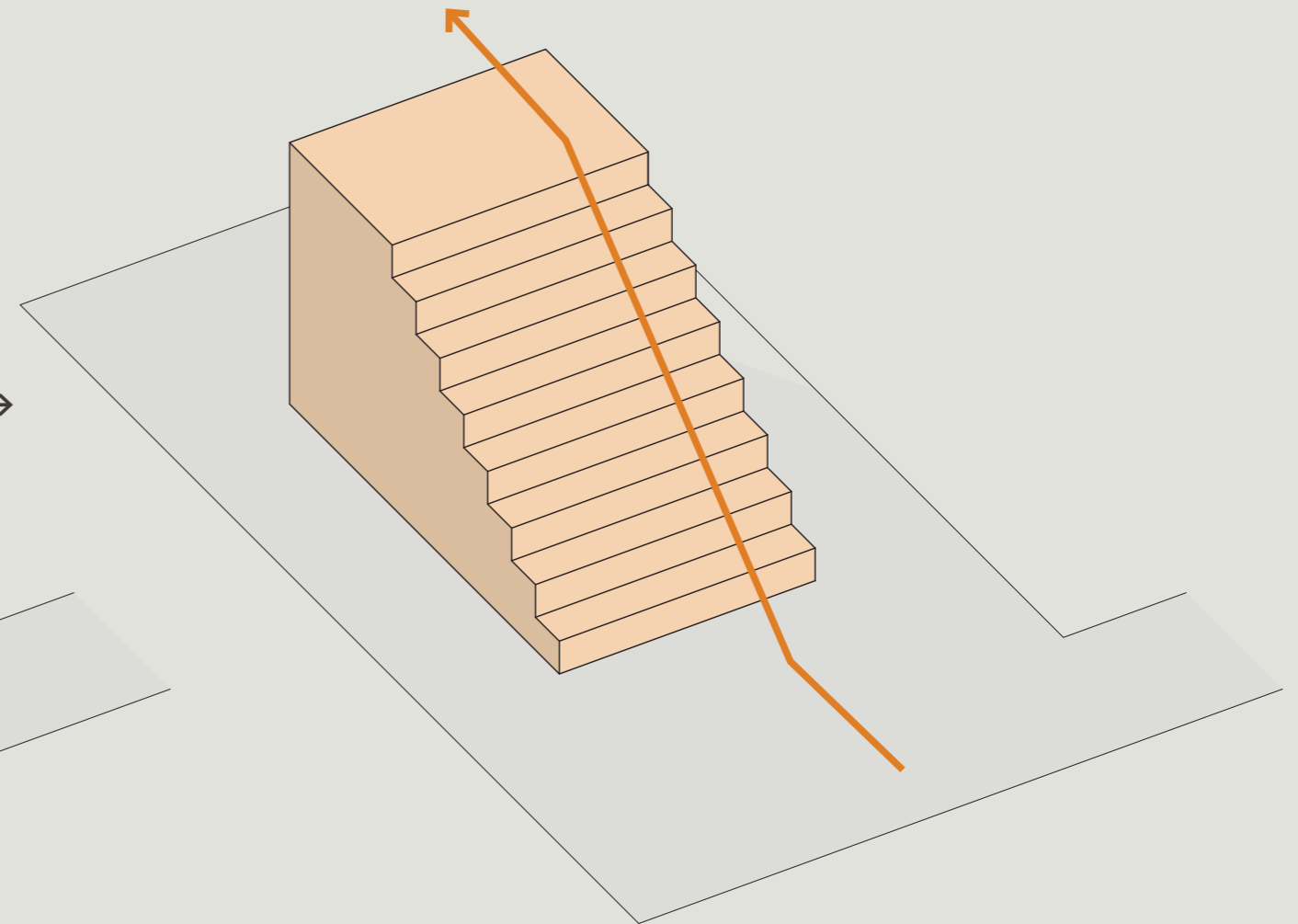
3.CONCEPT

ダイアグラム

停滞する間取り



上昇する間取り



停滞する間取りでは、均質で画一的な空間となるのに対して、
上昇する間取りでは、その連続性によって動的な空間となる。

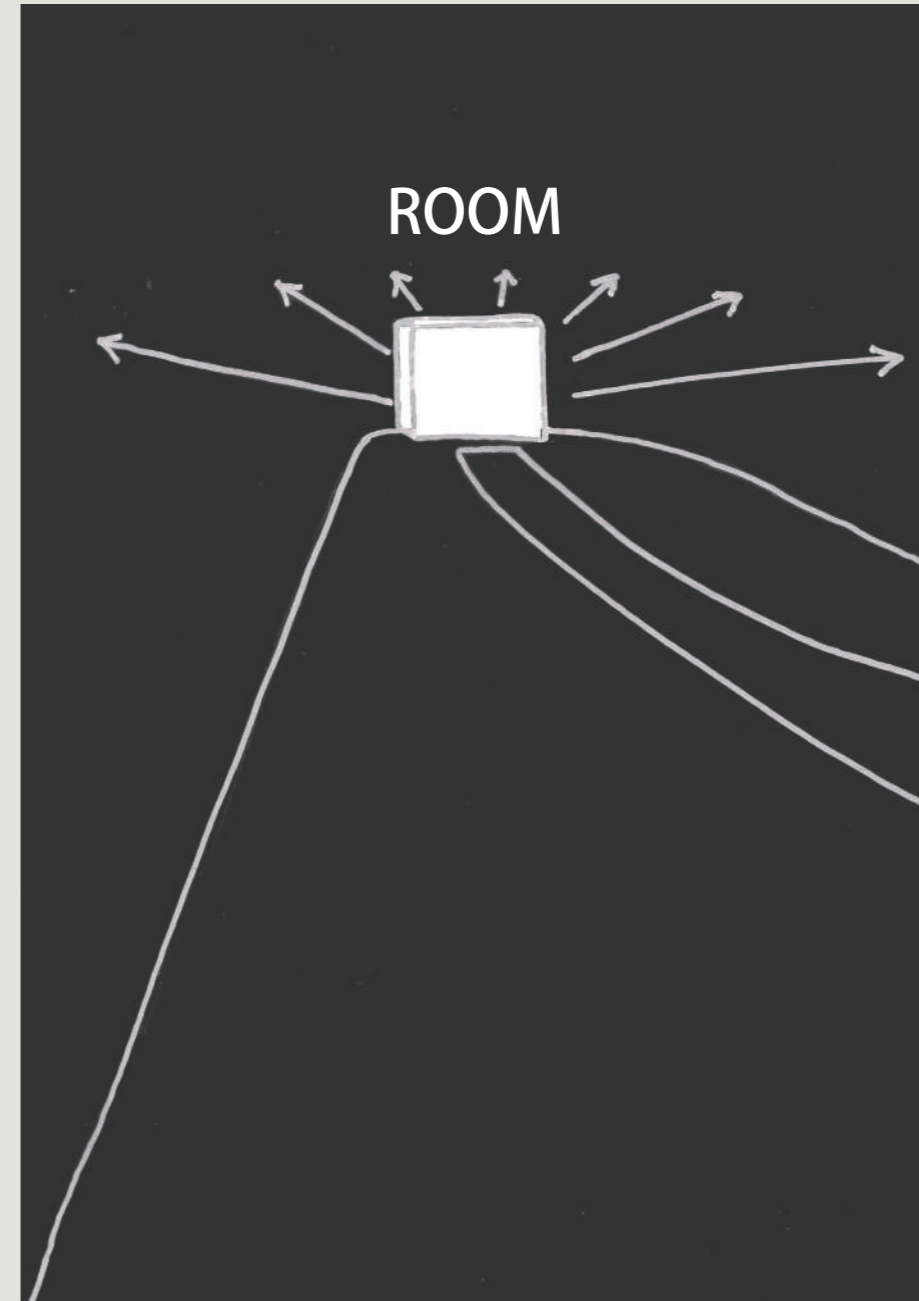
3.CONCEPT

ダイアグラム

道のりの終着点、山頂にある絶景



道のりの終着点、最奥の部屋にある絶景

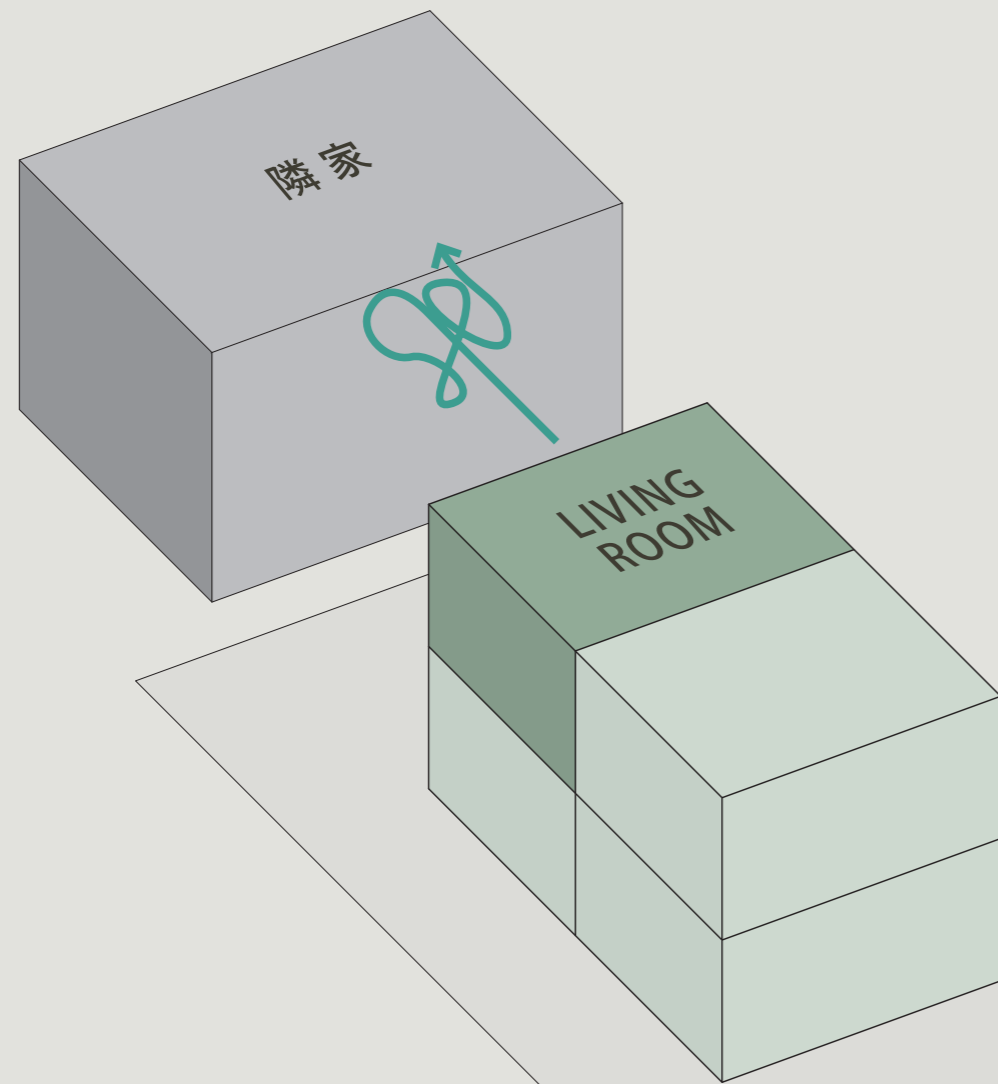


道のりの終着点にはご褒美がある。山頂から眺望が得られるように、最奥部屋からも眺望を得る

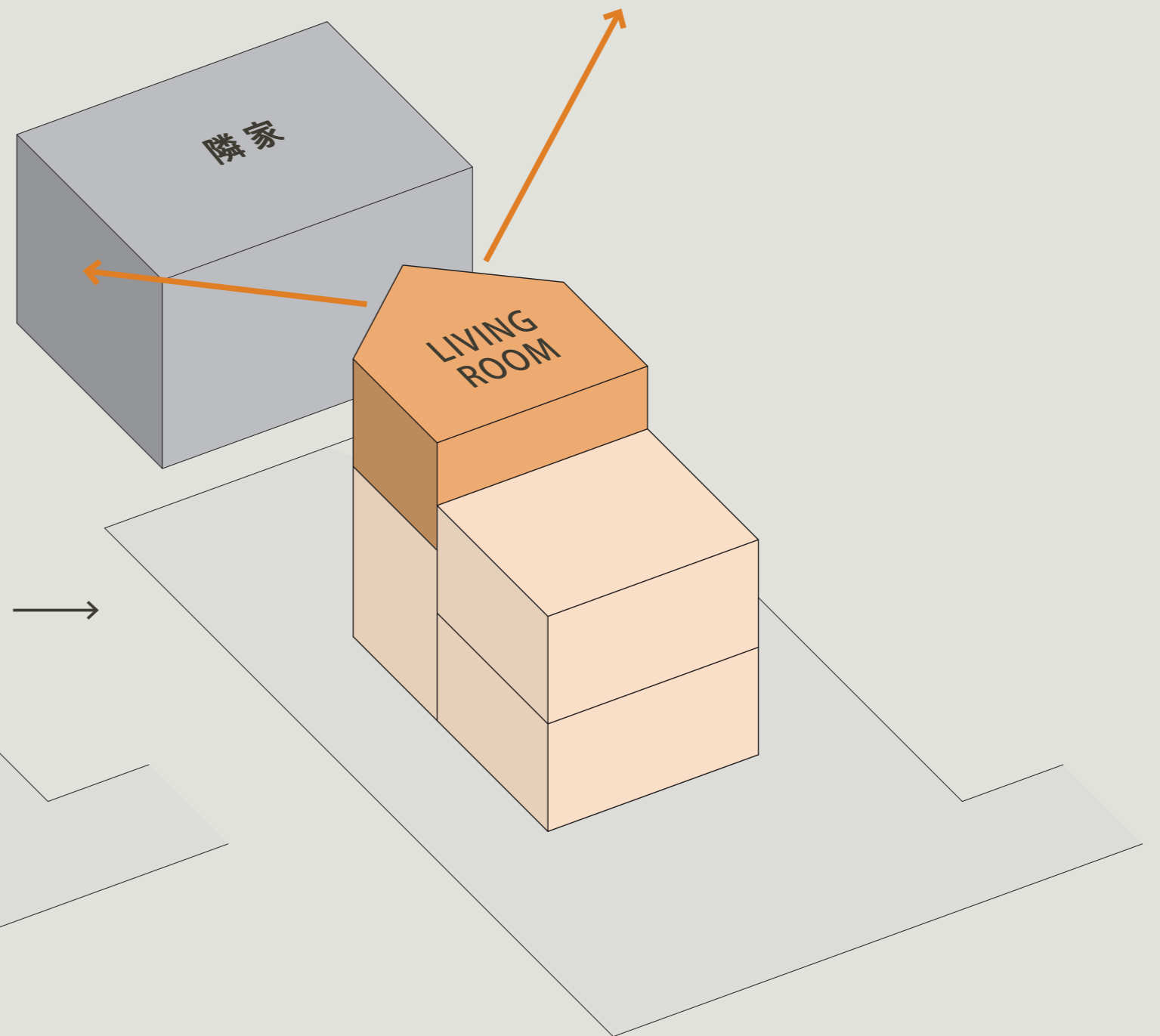
3.CONCEPT

ダイアグラム

視線の止まる間取り



視線の抜ける間取り



視線の止まる間取りでは、閉塞的な空間となるのに対して、
視線の抜ける間取りでは、その眺望によって開放的な空間となる。

4. PLANNING

平面計画図

[プライベートガーデン]
通り土間空間に光と風を呼び込む。庭の豊かな植物が暮らしに躍動感をもたらす。

[テラス]
室内に光と風を導くテラス。光と風は吹き抜けを通して1階まで届く。谷戸の山稜に向けて眺望がひらける。

[自然をもたらす坪庭]
バスルームやベッドルーム、そして通り土間空間に光が滲む。シンボルツリーが季節の移ろいをもたらす。

[坪庭が見えるバスルーム]
坪庭に向けて間接的に窓をつけることで、プライバシーに配慮しながら、開放感を高める。

[ディスプレイ棚]
いつもは脇役として小面積を割り当てられてしまう動線空間や収納を建物の中央にまとめて一体化する。床面積を抑えながら、広がりをつくりだす。

[プライバシーのある窓計画]
隣地側に設ける窓は最小限とし、プライバシーを確保する。

[セミオープンなキッチン]
独立しながらも孤独にならない、開くと閉じるの絶妙なバランスをもった空間とする。吹き抜けにより家族の気配を感じることができる。

[視線の抜けるリビング]
2.5階まであがることで、リビングからの眺望は隣家屋根を越えて広がる。さらに窓を45°角度をつけることで、隣家の存在感が消え、最高の視界を獲得する。

[スキップフロア]
キッチン、ダイニング、リビングと奥に進むにしたがって、床高さが高くなる。スキップフロアによって、各所を緩やかに区切りながら、一体化によって空間に最大限の広がりをつくる。

[子供室]
家具を動かすことで、部屋の大きさをアレンジできる可変性をもつ。

[通り土間]
両側の壁を10°傾けて、空間に奥行き感を生み出す。床は床暖房を仕込んで蓄熱体としたコンクリート土間仕上げで、暖気は吹き抜けを通して、2階まで拡がる。

[広い玄関ホール]
ロードバイクをディスプレイしておく空間。吹き抜けを通して天窗から光が射す。

[閉じた外観]
人通りの多い道路側はプライバシーに配慮して閉じた外観とする。

[目隠しとなるパントリー]
冷蔵庫と雑多な備品などを、一切合切しまっておくための便利な収納庫

[中央の吹き抜け]
どこに居ても吹き抜けを介して、家族がお互いの気配を感じることができる。

1F PLAN

2F PLAN

5.REALIZATION

完成建物



周辺隣家に対する圧迫感を抑えるため、大きな1つの立体でなく、小さな3つの立体が重なり合った構成とした。またプライバシーに配慮して、道路正面にはあえて窓を設けていない。そのピュアな壁の重なりは、敷地内の1Mの高低差と相成って軽快さを感じさせる。

5.REALIZATION

完成建物



1階ホールは家の真ん中を貫通する通り土間のような空間。左右の壁を10度だけ傾けて実物以上の奥行感を感じさせ、差し込む光によって、意識を自然と奥に誘導する。なお本棚は床より40cm浮かして、圧迫感を軽減し、埃たまりにならないように配慮した。

5.REALIZATION

完成建物



リビングの床の高さを標準レベルより半階分高く持ち上げたことで、隣家の屋根を越えて由比ガ浜まで視線が通る。この谷戸の高台から見る由比ガ浜への景色は、まるでハイキングのクライマックスのような贅沢な体験である。

5.REALIZATION

完成建物



開口部は敷地に対して45°傾けている。そのことで隣家の建て込みを全く感じさせず、谷戸の緑に囲まれた豊かな住環境が実現できている。

5.REALIZATION

完成建物



吹き抜けと象徴的な丸柱が、リビングダイニングとキッチンをやややかに隔てる。大きなワンルームでありながら、スキップフロアと吹き抜けによって、各スペースは適度な距離感でセパレートされている。家族の存在を、吹き抜けを通していつも身近に感じることができる。

5.REALIZATION

完成建物



吹き抜けでつながる玄関ホール。1階床のコンクリートには、床暖房温水パイプを直接埋め込んでいる。真冬であっても早朝に2時間だけコンクリートを温めておけば、その後一日をあたかかく快適に過ごせる。なお吹き抜けが暖気を2階に導き、建物全体の空気調和を整える。

・
・
・

続きはウェブページからコンセプトブックをお取り寄せ下さい。
より具体的な物件の写真、建設情報などをご覧いただけます。